

次期中期経営計画に向けて

当社グループは、経営理念「変革、創造、共存」のもと、社会のニーズに応える、創造性溢れるモノづくりに取り組んでいます。

前中期経営計画では、「成長への挑戦」をスローガンに、
①機械事業の技術力強化と更なる海外展開の推進、②新製品の事業化に向けた開発の促進、という2つの基本方針

を掲げてその実現に取り組んできました。世界同時不況により経済情勢が激変したものの、方針自体は一定の成果を挙げることができました。この結果を踏まえ、新たな中期経営計画の検討を進めています。

前中期経営計画 (2008～2010年度)

機械事業の技術力強化と
更なる海外展開の推進

新製品の事業化に向けた
開発の促進

次期中期経営計画に向けて

次期中期経営計画は、前中期経営計画の基本方針をさらに進化させ、以下の3点を基本に計画の検討を進めています。

1. 機械事業の収益基盤の強化

- 国内シェアの一層の拡大を図る。
- 開発機械(ロックドリル)事業において、中国で現地適合機^{※1}を市場投入するとともに販売拠点を増設。インド、中南米、アフリカなどでも販売・サービス体制を強化する。
- ユニック事業において、中国、ロシア、インドで販売を強化。また日本、中国、タイで最適な生産体制の確立を図る。

2. 素材事業の開発力の強化

- 新素材の開発を推進。汎用性・独自性を兼ね備えた素材力を強化する。
- 「素材+1(プラスワン)」^{※2}によって顧客満足度アップを図る。

3. ファインテック事業の育成

- 保有技術のうち、先進性が高い「機械」「素材」の関連技術を融合し、独自の新製品の開発を目指す。

※1 現地市場のニーズに適合した機種。

※2 素材の性能を高めるだけでなく、川下展開を推進する戦略。

「機械」「素材」の関連技術を融合した、ファインテック事業の取り組み事例

窒化ガリウム (GaN) 製品の開発

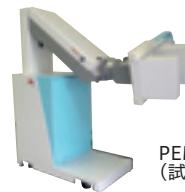
当社は、さまざまな電子機器で利用が期待されるGaN製品の開発を進めています。すでにGaN基板では2インチ品の量産技術を確立し、大学や研究機関向けに出荷。現在は製品の低価格化・大口径化に向けて開発を促進しています。今後は、次世代照明に用いられる高輝度LEDや、電気自動車用パワーデバイスなどに向けて製品を展開する予定です。このほか、出資会社であるパウデック社では、GaNを用いたダイオード製品をパソコン向けなどにサンプル展開しています。



4インチGaN基板(右は2インチ)

LuAG結晶を用いたPEM装置(次世代乳がん検診装置)

当社が開発したルテチウムアルミニウムガーネット結晶(LuAG)を用いたPEM装置が、臨床試験段階にあります。このPEM装置は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のプロジェクトとして研究開発されているものです。実用化されれば、小さながんを正確に発見でき、痛みもともなわない検査方法が実現すると期待されています。今後は薬事申請を予定しており、早期の実用化を目指します。



PEM装置
(試作品)

